

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310011016	英語 English	小倉 弘之			1	選択	1前期

科目の概要

本科目は社会人基礎力及びpisa型学力の基礎となる専門的な知識と技能を身に付け、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭として、人々の生活の子育ての面から支援できる人材を育成する科目に位置づけられる。英語によるコミュニケーションの土台となる英文法の重要な基礎知識を学び直し、実際に「聞く・話す・書く・読む」活動を通して、得た文法知識を活用しながら定着を目指す。(DP②) そのために、AI教材などの多様な教材を活用し、スキルトレーニング及び協同的な学習を展開していく。

学修内容	到達目標
① 基礎的な英文法を身に付け、語彙力を高める。 ② 英語のリスニング力を高める。 ③ 英語のスピーキング力を高める。 ④ 英語のライティング力を高める。 ⑤ 英語のリーディング力を高める。	① 基礎的な英文法と語彙を身に付け英語力を強化する。 ② ナチュラルスピードで話される平易な英語を聞き取ることができる。 ③ 英語で自己表現及び他者との基本的なやり取りができる。 ④ 語順やスペリング、表記等に配慮して正しく英文を書くことができる。 ⑤ まとまった英文を読み、大意をつかむことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	指示に関わらず、自ら意欲をもち学修を進めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難に直面しても諦めずに最後まで目標達成に向けて努力を続けられる。
考え抜く力	課題発見力	常に自らの学修を振り返り、課題を見つけることができる。 自己のみでなく集団の学習に資するために課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	発見した課題を解決する方法を創意工夫することができる。
チームで働く力	発信力	自らの意見を相手に配慮して伝える努力、工夫をすることができる。 臆することなく英語による発話をし、自らのみならず集団の学びに貢献することができる。
	傾聴力	常に相手を理解しようとする気持ちで、耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	・提出物を期限厳守で必ず提出することができる。 ・授業でのマナー、ルールを守り、ペアワークやグループワークで参加者全員が最大限の学びが得られるように自ら判断して協力的に行動できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

・『一億人の英会話』大西泰斗、David Evans（東進ブックス）
他、配布資料

他科目との関連、資格との関連

「英語」は外国語分野の基礎となる科目で、英文法の基礎知識を身に付け、獲得した知識・技術を「英会話」で活用する。また、教科指導法における「小学校英語」「外国語（英語）教育法」履修の基礎的な資質・能力を育成することとなる。
本科目は、教職・保育士免許（選択必修）に該当する。

学修上の助言	受講生とのルール
・予習では、次時の授業で学習する単元の予習課題に必ず取り組んでください。また指示に関わらず、授業参加に必要な語彙表現を調べてください。 ・英語を身に付けるには、長年に渡る不断的努力が必要です。すぐに成果が見られなくても努力を続ける態度を評価します。成果が感じられなくても諦めずに、前向きに取り組んでください。	・授業に参加していないと判断した場合は、欠席扱いとなります。 ・授業中のスマホの使用は、授業者から指示があった時以外は禁止とします。 ・テキストと辞書は必ず用意すること。電子辞書持参を推奨する。 ・欠席等で資料等がない場合は、友達にコピーさせてもらうか研究室に取りに来るなど事前に入手して授業に臨むこと。 ・20分以上の遅刻は欠席扱い、3回の遅刻で1回の欠席扱いとなります。 ・遅刻した時は、必ず理由を説明してから着席すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	40	①	✓			(獲得) テキストの基礎的な英語表現（文法・文構造・語彙等）の知識（30%） (活用) テキストの基礎的な英語表現（文法・文構造・語彙等）のアウトプット（70%）
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	30	①	✓			(獲得) 授業中の学修課題での言語活動を通しての英語表現の知識・技能（30%） (活用) 授業中の学修課題での言語活動を通してのインプット・アウトプット（70%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			課題の解決（既習事項を適切に活用してのプレゼンテーション）：100%
				②	✓			
				③				
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：指示に関わらず、自ら学修を進めることができる。予習を怠らない。 実行力：課題や活動に最後まで取り組む。 課題発見力：常に自らの学修を振り返り、課題を見つけることができる。 創造力：自らの英語力向上や成果発表のために学習方法を創意工夫することができる。 発信力：相手に意図が正しく伝わるように発話を工夫する。 傾聴力：講義や対話相手の発話を理解しようとする。 規律性：課題やその他の提出物の未提出が見られる場合は5点を減点する。授業でのマナー、ルールを守り、ペアワークやグループワークで参加者全員が最大限の学びが得られるように自ら判断して協力的に行動できる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) 授業中の活動、発言が積極的で受講態度が極めて良好である。 レポート、日常課題、成果発表で90%以上の成果を上げられる。 (A) 授業中の活動、発言が積極的で極めて良好である。 レポート、日常課題、成果発表80%以上の成果を上げられる。	(B) 受講態度がよく、減点項目がない。 レポート、日常課題、成果発表で極めて70%以上の成果を上げられる。 (C) 受講態度がよく、減点項目がない。 レポート、日常課題、成果発表で60%以上の成果を上げられる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
8	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 25～26 ・AIを活用してのWriting活動⑦ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク 1. 文法知識習得 2. 演習 (文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading) 4. オンデマンド課題のフィードバック	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 96～103の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
9	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 27, 28, 32 ・AIを活用してのWriting活動⑧ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク 1. 文法知識習得 2. 演習 (文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 106～116, 130～131の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 08～14 ・AIを活用してのWriting活動⑨ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク 1. 文法知識習得 2. 演習 (文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 38～55の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 15～19 ・AIを活用してのWriting活動⑩ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 56～69の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 20～23 ・AIを活用してのWriting活動⑪ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。 ・スピーチ発表に向けて練習し積極的に準備ができる。	(予習) テキスト pp. 70～83の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 24 ・AIを活用してのWriting活動⑫ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 86～95の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出及び次回テスト準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	4 技能の訓練 ・確認テスト(google forms) ・Warm-up (S/L) ・文法・文構造[テキスト]Lesson 29～31 ・AIを活用してのWriting活動⑬ (R/W)	講義、演習、ペアまたはグループワーク	・英語を使って活動できる。 ・学修した内容を活用して課題に取り組むことができる。	(予習) テキスト pp. 117～129の予習 (復習) 学修した内容を活用しての課題提出	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力